

『四つ折バインダー(10mm)』ご使用のてびき

※BL72S以外の「ふらっとろっく」では使用できません。

1 取り付けの準備

- 左針を使用して、チェーンステッチの設定にする。
※Kanade、縫希星ではC1の針を使用します。
- 送り目(縫い目長さ)を4mmにし、試し縫いをして糸調子を整える。
- テープスタンドを組立てる。(図1参照)
 - 1) テープ皿をアンテナ先端から入れる。
 - 2) スタンド取り付け板を磁石に付ける。
- テープの巻き幅を調節する。
 - 1) 巻き幅の調節は、バインダー本体の正面に見える2箇所
のネジ[A・B]を使う。(図2参照)
 - 2) 上側のツメの調節は、向かって左側のネジ[A]を使う。
※ツメの位置は最初いちばん右端にしておき、試し縫い
時に生地に合わせて調整する。
 - 3) 下側のツメの調節は、向かって右側のネジ[B]を使う。
 - ① 襟ぐりなどをバインダー仕上げにする場合は、上側の
ツメよりやや外側に出るように合わせる。(図3参照)
 - ② ひも状のテープを作る場合は、上側のツメと同じ位置に
合わせる。(図4参照)

図1 <テープスタンドの組立て方>

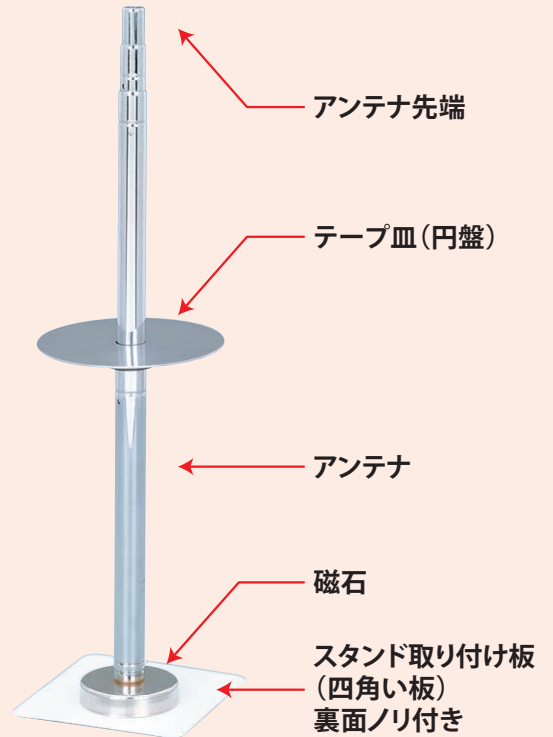


図2 <バインダー本体 各部の名称>

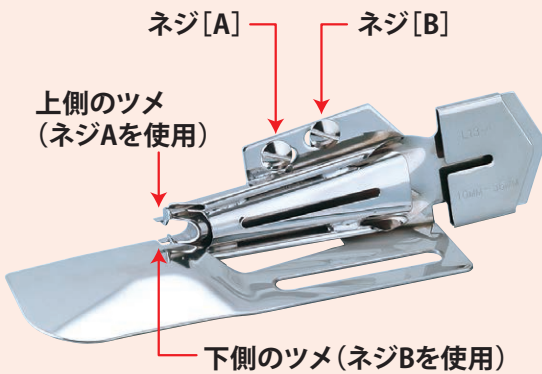


図3 襟ぐりなどをバインダー仕上げにする場合

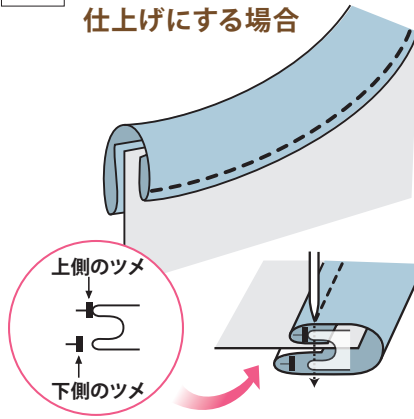
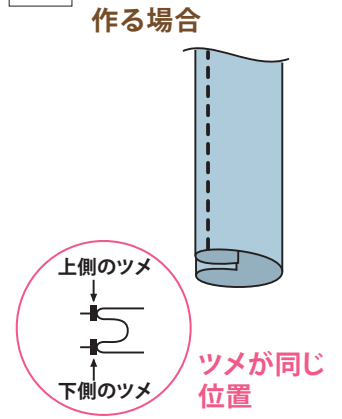
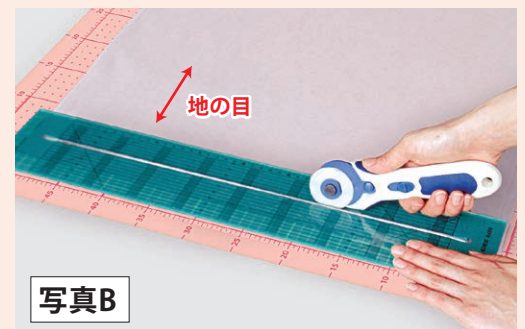
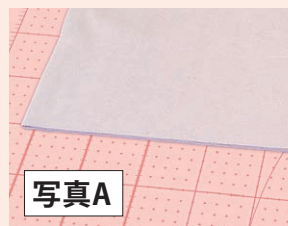


図4 ヒモ状のテープを作る場合



2 テープのカット

- ニット生地を定規の幅に合わせてたたみ生地端をきれいに切りそろえる。(写真A) 36mm幅(素材により多少広め)にカットして横地のテープを作る。(写真B) 試し縫い用に、テープは余分に用意しましょう。(参照:テープカット定規/ロータリーカッター/カッティングマット ※仕様などを予告なく変更する場合があります。)



3 バインダーの設置位置 ※画像ではKanade (BLC-7J) を使用して説明しています。

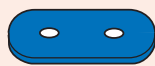
○ミシンに付属のアタッチメント固定ネジ(ふらっとろく【BL72S】はガイドアダプターをバインダーの下にいれる)を使って設置する。バインダー上側のツメの角が押え金の左針表示より、2mm程左側に来るようにセットする。(写真C)

注 バインダーをテーブルに設置するときは、2つのアタッチメント固定ネジでしっかり止めてください。しっかり止めていない場合や固定した状態でバインダーを動かすと、ミシンテーブルを傷つけてしまいます。

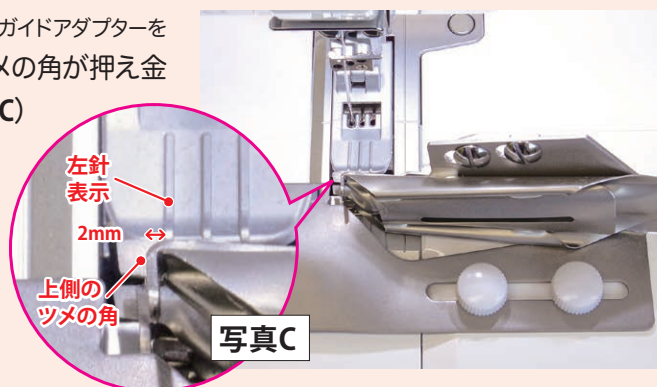
〈アタッチメント固定ネジ〉



〈ガイドアダプター〉



※Kanade (BLC-7J)、縫希星 (BL86WJ) ではありませんため付属していません。



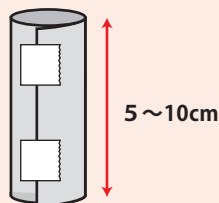
写真C

4 テープスタンドの準備

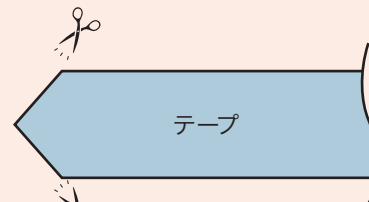
○巻き芯を作ってテープの表面が外側になるように巻き、テープスタンドに立て(写真D)テープの先を三角にカットする。

〈巻き芯〉

厚紙を巻いてセロテープで止めます。



写真D



先端を三角にカットするとバインダーに通しやすくなります。

5 テープをバインダーに入れる

○押え金と針を上げる。

○スリット部からピンセットでテープをはさみ、滑らすようにしてテープを入れる。(写真E)

○バインダー先端にテープの端がきたら、ピンセットでテープの先端を四つ折りになるように引き出す。(写真F)

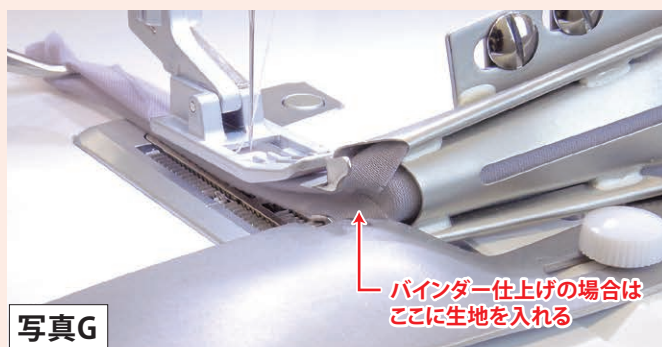
○押え金の下に落ち着かせる。(写真G)



写真E



写真F



写真G

バインダー仕上げの場合はここに生地を入れる

6 必ず試し縫いをしてから縫い始める

○縫い目の位置がズれている場合はバインダーの位置を変えて調整する。